

政清新報

四倉海水浴場 紹介號

風光の美に富む

四倉海水浴場

勝地として廣く知れ
年々浴客も激増す

四倉海水浴場は、相馬郡のに勝れてゐる事は、今更ら
原釜、本郡の小名濱等と共に、本縣内に於ける知名の海岸
に本縣内に於ける知名の海岸に立つて水平線上に現は
水浴場として指を折られてゐる。今茲に本郡の名勝地
として郡誌に記されてゐる

新聞定價 一部 五錢
毎月十五日一回發行
廣告料 場所指定 十錢増
福島縣平町白銀町十五番地
發行所 政清新報社
福島縣石城郡四倉新町五二
編輯印刷 武藤 登
發行人

眼を寫して海に突き出した
鹽屋岬燈臺や、三里餘も續
く老松の繁る松原が白砂と
清波に反映する自然の美を
見れば其の風光を筆紙に現
す事の不可能である事を知
るであらう。此の勝れた風
光を持ち、町民の自覺に依
つて各種の設備をなされた
四倉海水浴場は並に廣く世
に知られつつあり、毎年浴
客の數も激増して來た。

古い歴史をもつ 四倉町の町政

町當局並に町議が
改革を圖りつつある

四倉町は石城郡の北部に於いて歴史を持つてゐるのであ
る。清波に反映する自然の美を、町村自治の方面から見て
見れば其の風光を筆紙に現す事の不可能である事を知
るであらう。此の勝れた風光を持ち、町民の自覺に依
つて各種の設備をなされた四倉海水浴場は並に廣く世
に知られつつあり、毎年浴客の數も激増して來た。

四倉町の企業

磐城セメント工場
四倉電氣株式會社
株式會社四倉銀行

堅實を誇る

四倉町は漁業として發達し、現在に於ける
來たのであるが、完全なる四倉町の企業を代表する
漁業地として、磐城セメント株式會社の内容を
的に農蠶等を盛んにした。△磐城セメント工業所
商工業は平町に近接して、磐城セメント株式會社は淺
の結果、發達も遅れ企業界と比敵する我が國セメン
況としては、磐城セメント工業所、四倉電氣株式會社、
工業所、四倉電氣株式會社、四倉運新設された湊工業所と共
倉銀行、四倉製氷、四倉運新設された湊工業所と共
送萬年瓦工業所等を數へる。全國的に知られた大工場
のみである。而し今や漁港石城郡は勿論東北に於ても
期成の運動も起き前途に曙を認めつつある。曩に資金融通に行詰
光を認めて來つたのである。曩に資金融通に行詰
此の漁港が完成すると同時に、曩に資金融通に行詰
に、漁業地としての發展は、當然の對策として工場内
勿論の事、當然の結果としての整理をなし人員の淘汰を
の商業も工業も發達するも、行つたが、其の新陣容を見
將來に屬する事未知數で、定評のある工學士小室萬五
あるから今茲に論述する必、各課長も新進

杉原新伍氏

四倉町長

最後の杉原町長の御紹介
介しよう、劃數は三十五、
此數は一里を行かんとして
此數は理想が高い、文藝とか
甚だ理想が高い、文藝とか
田技藝的には殆んど天才的
て見る、戸と雄は偶數、田
と章は奇數で偶數を陽とし
數は非常に良い、貴重な運
數が交伍になる、此の配列
ある、富貴も得れば幸福も
來る、兎角優勝者で用意の
來る、兎角優勝者で用意の
來る、兎角優勝者で用意の

戸田雄章氏

四倉銀行専務

劃數は新妻氏と同様であ
るから陰陽の配列で判断し
て見る、戸と雄は偶數、田
と章は奇數で偶數を陽とし
數は非常に良い、貴重な運
數が交伍になる、此の配列
ある、富貴も得れば幸福も
來る、兎角優勝者で用意の
來る、兎角優勝者で用意の
來る、兎角優勝者で用意の

小室萬五郎氏

セメント工業所長

劃數は三十九、此の周
到な事は他に類例がない
障害を巧妙に乗り越す事
治の上に現はさん事を期待
銀行を背負つてゐると云つ

新妻盛氏

四倉電氣社長

劃數は三十二、此の周
到な事は他に類例がない
障害を巧妙に乗り越す事
治の上に現はさん事を期待
銀行を背負つてゐると云つ

新妻盛氏

劃數は三十二、此の周
到な事は他に類例がない
障害を巧妙に乗り越す事
治の上に現はさん事を期待
銀行を背負つてゐると云つ

紙面の都合で此の三つだ
けを掲載する事にしました
此の他の會社、工場等現在
廣く事業を有してゐる事
後記しておきます

四倉名所の一 濟海山如來寺

應永年間の開山

四倉新町にある如來寺は濟本山とする眞言宗新義派の海山と號し大野村藥王寺を寺である應永十九年(二十二年)層一逼の開基に



寫眞は四倉如來寺の全景

なり元祿五年徳祐覺中興すと傳へられてゐる、現任職は小松學俊師で、本堂を大改築し境内には牡丹園を設備し四倉町に於ける名所の一つである。

口碑(二) 説傳

大蛇の祟りと 鬼越の蛇塚

勇敢な獵師一家に
引續いて起る不幸

大野村大字戸田の東方字帯作の東端、鬼越山四倉町との境界をなしてゐる處に小石祠がある、笠松神社と呼ばれてゐる、其の神社の山腹に蛇塚があり、享保の頃から傳へられた大蛇の祟りと云ふ事實談がある。

享保年中戸田村(當時は戸人は此の話しを聞いて孫兵田と稱してゐた)に孫兵衛の勇敢な事を賞讃した迄と云ふ農夫があつた。非常は良かつたが此の勇敢な男に鐵砲が上手な處から好んが鬼越山で雉子射をして山に行つては狩りをなした中原因不明の死に方嘗て官林を守護する役目をしたので大蛇の祟りだとなつた事もある程で獵好き誰彼れの口にはのぼる様になつた。孫兵衛の熱練させ名譽職をつた。そればかりではなく得た事になるのである。此孫兵衛の家族三名が疾病に山に登つて雉子射を吹いてしまつた上に安政五年の年雉子射をしてゐると山頂には火災にあつたので大蛇に生へてゐる笠松の幹に大蛇の祟りと思ふ者はなく大に驚いて、早速自宅に歸り孫兵衛の遺族に迄と鐵砲を持ち出し孫兵衛が不幸が孫兵衛の遺族に迄と目をつけて襲ひかゝらうと及んだので同村の老人達がしてゐる件の大蛇の頭部を鬼越山に残つてゐた蛇の脊狙つて發砲した。美中丸は骨を拾ひ集めて土地に埋め命申し大蛇は樹上から墜落蛇塚を建て、供養さしたのしたが更に孫兵衛に向つて此の蛇塚の由来だをうで來るので今度は山刀を抜

社告
磐城青年同盟會の基本金及び政濤新報社の維持費として會員諸君から年二回(但し一回三十錢)會費を御買ひする事に致します。會員諸君は此の點御含み置き下さい。
同盟會々員各位

つてしまつた。そして其の蛇頭を自宅に持ち歸つて庭先に置き白骨になつたのを珍らしい大蛇の頭骨でもありそれに自分で射止めた手柄にもなる事なので自宅に氏の温厚篤實な事は既に定藏つて置いたのである。村評のある事、獨り同業者の

張り扇

石城郡操瓢界の元老として誰知らぬ者もない東京朝日新聞社に歸つたが今度退社して故山鹿島村に歸つたが殊に天人共に許さぬ濟南家難局を打開すること、敢て腐敗墮落せる現代學者、貴ふ事にきましました併せて此の點もお含み置き下さい

青年諸君に告ぐ

斯様に現在の兩大政黨は政權の争奪、即ち利權の獲得をのみ目的とし、皇國の爲め百善あつて一利なきも努力するならば、この大衆の力たる偉大にして今日の國の基本金をかね此の新紙の維持費として若干の會費を奮つて御投稿下さい

「陸軍輕重輪卒」か其の肩書きである事が解り。「此の肩書きでは温厚な八代氏でもハッキリは言ひないだらう」變な處で同情したり感心したりしたそう。

「面白かつたでせうねそれで兵種はなんですか？」と聞くと、氏は言葉を濁してしまつたそう、で不審に思つて他から聞いて見ると、實に對支問題は共產黨事件の大不詳事と共に國體の尊嚴を傷つけ、國民の威信を失墜せしむるものなる故一刻も早く根本的所決に努力せねばならぬ。

斯様に我國の現状は、内外共に國事多難であるが現今の政治家、學者は吾人の期待に背く今日吾等は偉大なる人傑の出現を冀ふものである。然しながら吾人は今日の時代は英雄の時代や、豪傑の時代ではなく大衆の時代である。微力なる吾々の力は素より一人を以てしては天下の大勢を動かす事は出来得べくもないが奮つて御投稿下さい

編輯後起

かねての計書を變更して四倉海水浴場紹介號を出す事にしました。之れからも引續いて地方の紹介號を出す事になるかとも思ひます。其の節は援助方をお願ひします。

めでなく氏の退社を惜しむ内に、之が責任問題など起力を以て能くし得るものなである。此の温厚なる八代つてゐるやうでは政争も起り信するものである。元老が酒を飲んで陶然と酔つて來ると日露戦役に出征りと言ふべきである。元來家の危急存亡の機に際し、當時の勇敢なる懷舊談に花を咲かせる。「君あの玄海灘の荒海を越へた時の氣持ちは今でも忘れる事が出来ないよあるのでこれに對し我が留民の保護と我が既得權の確保との爲めに舉國一致して彼等に對し一大決意を示すべき時であるのに、それを考へず相互の責任を時を過すが如きは果して日本人なるかを疑ふものである。」

石城郡銀行組合

四倉銀行會社組合

味噌と醬油
たひら正宗



山崎合名會社

福島縣平町
電話一〇番

玉山鑛泉

石屋旅館

石城郡大野村

玉山鑛泉

藤屋旅館

石城郡大野村

玉山鑛泉

玉屋旅館

石城郡大野村

新妻盛

石城郡四倉町

門馬醫院

院長門馬倉次郎

海水浴旅館

海氣館

福島縣四倉町
電話五番

福島縣四倉町
海水浴旅館
旭館

電話七一番
(自動車お出迎ひの便あり)

海水浴旅館

金芳旅館

福島縣四倉町
電話五三番

福島縣四倉驛前

日ノ出石材工業所

四倉出張所

石城郡小名濱町
小名濱支店

(電話二七番)

石城郡四倉町
四倉製水所

(電話五八番)

福島縣二本松町

二本松電氣株式會社

東洋捕鯨株式會社
小名濱事業場

大野英之助

福島縣小名濱町

銘酒清世界

釀造元清

水屋

石城郡小名濱町
電話六番

八月十日より

中元格安大賣出し

三大特色
女優好み中形...一圓五十錢
本麻かや六八...四圓也
(外に特價品豊富に取揃へてあります)

三井吳服店

石城郡第一區學校長會

磐城海岸軌道株式會社

福島縣小名濱町

Trade Mark

Telephoned

K. K. MAYA

消防組頭

鈴木喜三郎

石城郡草野村

村長

吉田盛治

石城郡大野村

町信用組合

組合長 大谷久藏

長谷川寅次郎

石城郡四倉町

町長

杉原新伍

福島縣四倉町

佐藤藥店

石城郡四倉町

平町田町

赤心堂病院

電話四七五番

松乃月

常磐線四倉町
電話三六番

美味しい葡萄酒
朝に夕にせひ一杯

ホシポトワイン

ホシ蜂蜜葡萄酒

四倉郵便局長

菅波富太郎

石城郡四倉町

菅波富太郎

石城郡四倉町

福島縣植田町
御旅館 山田屋本店

御料理 山田屋別館
電話八番

海水浴旅館

柏屋旅館

福島縣四倉町
電話一九番

石城郡四倉町

額賀醫院

院長 額賀襄

主 郡司相之助

△ 萬人渴望の威編

△ 好機來つて大公會

△ NK日活超作品

△ 原作...大佛次郎

△ 監督...池田富保

急襲拍
手を浴

地雷火組

第一編

第二編

第三編

完結編

△ 愈封切第三編

△ 封切

△ 熱映

△ 依

△ 望

△ 映

△ 上

△ 熱

△ 映

△ 依

△ 望

△ 映

△ 上

△ 熱

△ 映

△ 依

△ 望

△ 映

盆 舊
十四、十五、十六、
十七日、晝あり升

高級
常設
平館
電話四六六番